

自分流 枕草子



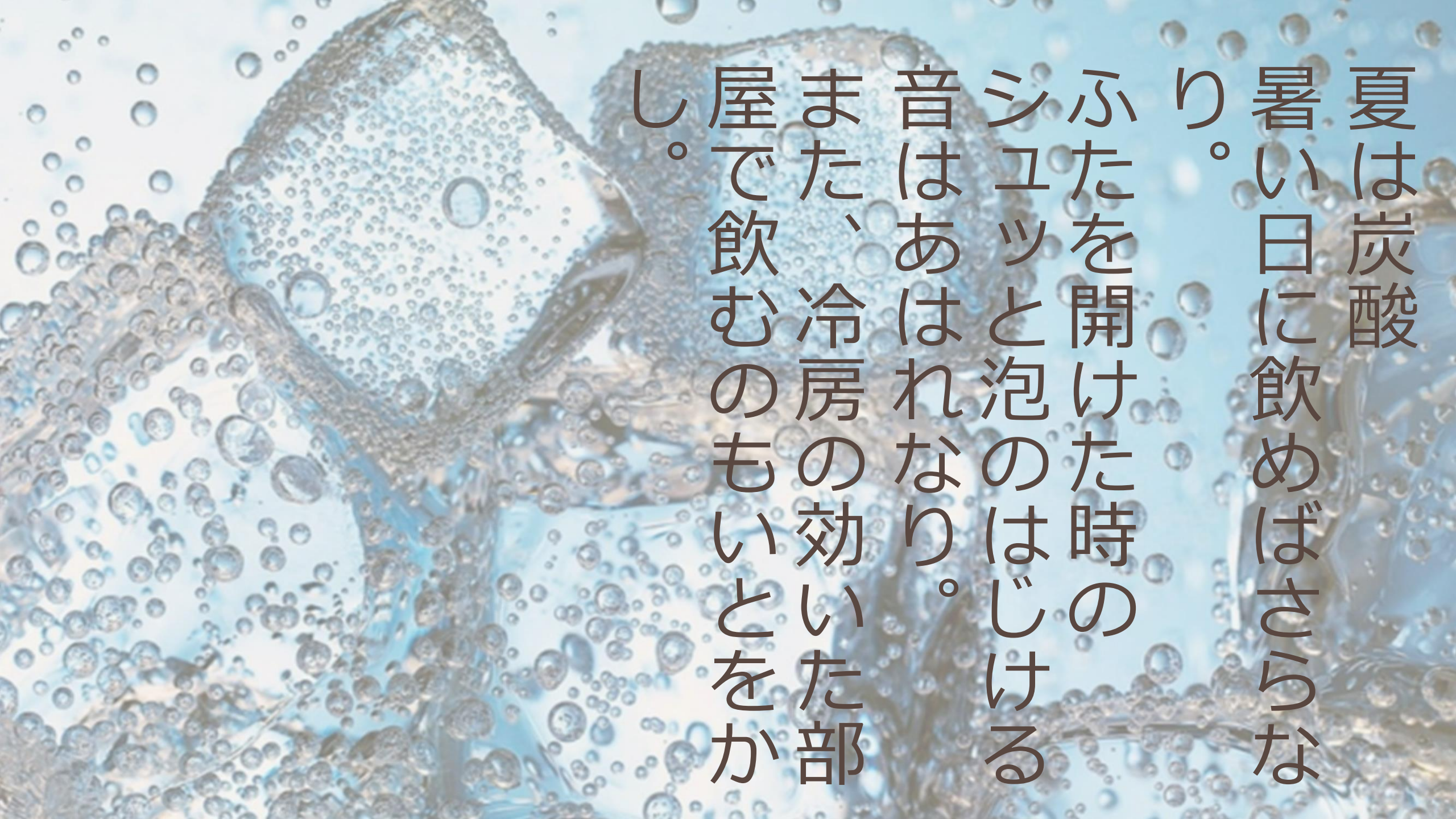
一組 三十五番 S.Y



春は緑茶

どこかから飛んできた桜
の花弁の舞を見ながら、
淡緑の茶で一息つくのは、
いとをかし。
飲み干して口に流れてく
る茶葉は、いとしぶくて、
わろし。





夏は炭酸
暑い日に飲めばさらな
り。
ふたを開けた時の
シュツと泡のはじける
音はあはれなり。
また、冷房の効いた部
屋で飲むのもいとをか
し。

秋は紅茶

やんわりと口に残る果
実の香りは、いとじつじつ
つぎし

お菓子ともいすれば、
はたいうぐきにあらず。



冬はココア

甘い飲み物、口を
 広がるのは
 甘い飲み物、口を
 広がるのは
 甘い飲み物、口を
 広がるのは
 甘い飲み物、口を
 広がるのは
 甘い飲み物、口を
 広がるのは
 甘い飲み物、口を
 広がるのは

